

# 市民文芸

## 短歌

阿南市文化祭短歌大会選

佳作 京寛 幸美

「ドン」と鳴ったどんな花火が咲くだろう土手に座りて心わくわく

佳作 福岡 孝子

八月の床の一幅読み返す「杜甫の春望」祈りに近し

佳作 久積多美子

しおさいと啼くひぐらしの声寂びて身めぐり燕の影も去りたり

佳作 黒部 君代

刈り田には秋の気配の風生れて踏み込む刻に足下温し

佳作 山西 成彬

咲き残る凌霄花八月の思い忘れず今も朱に炎ゆ

佳作 鹿島壽美子

ゆく夏と秋のはじめの青空にコンバインは響き蜻蛉群れ飛ぶ

佳作 小田 和子

朝日受け風船蔓今朝もまたゆらゆら影絵障子に遊ぶ

佳作 西井あつ子

庭の木の蝉鳴きやみて風涼し梨をむく手もひんやりとして

## 俳句

阿南市俳句連合会選

日溜まりに座して花見の馳走かな

横手 久典

結願の高野詣での春の旅

河野千枝子

卒業子十八人の夢を聴く

片山 幸美

再会の人に広げる春日傘

加藤 和子

一服の茶もなき亭の梅見かな

笹田 知睦

在りし日の思い新たに初涅槃

佐野 峯子

目薬のたつぷり入る梅日和

竹谷 由美

初桜目標に訪う知人宅

大平 夏子

海草も雑魚もゆらりと春の海

寿田 淳乃

巣立つ子を見送る機影消ゆるまで

山川 喜美

## 川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

お喋りの好きなふたりに合った席

二階千代美

足して二で割れば良い子が二人いる

原 公美子

不器用に生きて十指にあまる友

野村 敏子

道端で拾った恋にあつた棘  
共存を視野にロボット見ています  
二人への祝辞たつぷり超おまけ

## 一般応募

救命の看護師たちの速い足  
花見酒愚痴もひらひら散っていく  
猫と薔薇お澄まししてる背くらべ  
友が来て話がつきず刻忘れ  
心へのビタミン補給する読書

橋本 征介  
持木 寿栄  
野口 吾朗

湯浅八重子  
島尾美津子  
仁井 信子  
吉田 當代  
武田 敏子

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

### 祝市制六十年

瑞雲籠嶺映清流  
華歴重來六十周  
隆盛一途人足詔  
可稱高唱市民謳

吉形 和恵

### 伊島

阿州東外紀伊洋  
明滅燈台導夜航  
笹百合香太平島  
介魚豊富好漁場

原 美智子

### 春日出遊

芳晨風暖曳筇行  
雨霽堤塘垂柳清  
紅雪紛紛春欲盡  
眼前景色好詩情

井関喜久子